

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工場実習
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	4		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	なし					
担当教員	原 崇					
到達目標						
4日間もしくはそれ以上の期間、企業での業務を通して仕事を体験し、企業において必要なコミュニケーション能力や企業の社会的責任を理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術者としての社会的責任を自覚できる。職業意識の向上があり、自ら社会的責任を果たすための行動ができる。		技術者としての社会的責任を自覚できる。職業意識の向上がある。		技術者としての社会的責任を自覚できない。職業意識の向上がない。	
評価項目2	与えられた実習テーマに対し、これまでに学んだ専門知識や現場での学習をもとに、自ら考えた行動により課題を解決し、まとめることができる。		与えられた実習テーマに対し、これまでに学んだ専門知識や現場での学習をもとに課題を解決し、まとめることができる。		与えられた実習テーマに対し、これまでに学んだ専門知識や現場での学習を活かすことができない。課題を解決し、まとめることができない。	
評価項目3	技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解することができ、それに対する自らの意見を説明できる。		技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解することができる。		技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育プログラムの科目分類 (4)② JABEE (2012) 基準 1(2)(d)(4) 教育プログラムの学習・教育到達目標 3-3 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-d 教育プログラムの学習・教育到達目標 4-2 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-a						
教育方法等						
概要	これまで、座学によって学んだ知識あるいは工学実験で学んだ内容が、実際の企業でどのように応用されているかを理解する。また、実社会における技術者としての心構えを学ぶ。					
授業の進め方・方法	受け入れ先企業の方針に従う。					
注意点	企業では、参加学生のために時間と労力を割いているので、そのことを念頭に、礼儀に失することなく社会人としてのマナーを考えながら行動すること。また、実習中は積極的に質問することにつとめる。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	原則として、受入企業に4日間以上出向き、企業から提供される実習テーマに基づいて実習を行なう。	(1) 技術者としての社会的責任を自覚し、職業意識の向上を図ることができる。 (2) 与えられた実習テーマに対し、これまでに学んだ専門知識や現場での学習をもとに課題を解決し、まとめる能力を養うことができる。 (3) 技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解することができる。		
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
評価割合				
		当該企業の指導責任者による評価や実習報告書 および インターンシップ実施説明会の受講態 度等をもとに可否で評価	合計	
総合評価割合		100		100
基礎的能力		0		0
専門的能力		100		100
分野横断的能力		0		0